

○ S シャッター両戸ヶ所を示す。

外部仕上表

① 屋根 防災洋瓦葺(三州・石州) ゴム737mm×118-フィンゴ 22kg	⑥ ガルマニウム鋼板通気水切り	⑪ 樹脂サッシ (遮熱高断熱複層ガラス 7&コングラス)	⑯ 出窓 ガルマニウム鋼板葺き
② 破風板 14mmサイツィング張り ウレタン塗装	⑦ 軒天井 珪カル板貼=6.0 AEP塗	⑫ ※ 樹脂サッシはオール樹脂製品とする。	⑰ バルコニー手摺 アルミ製並木W265
③ 外壁 サイツィング張 2fn (V/S-ス)程度 金具工法16mm	⑧ 根廻りモルタル削毛引き	⑬ 庇 HK型 1010×600	⑱
④ 外壁 サイツィング張 2fn (V/S-ス)程度 同質役物L=455	⑨ 軒樋箱樋 N. フィンスター プラック 縦樋 φ60	⑭ スロープ コンクリートほうき目仕上げ	⑲
⑤ 玄関断熱片開きサッシ	⑩ 玄関ポーチ 300角磁気タイル貼り	⑮ スロープ 手摺 H=900	⑳

株式会社 史幸工務店建築設計事務所  
熊本市東区戸島7丁目25-2  
TEL389-1200 FAX389-1207

工事名称

N様 邸新築工事

図面名称

立面図

縮尺

1/100

事務所登録  
建築士登録

熊本県知事登録第 971号  
大臣登録第 133884号  
平田和博

日付

番号

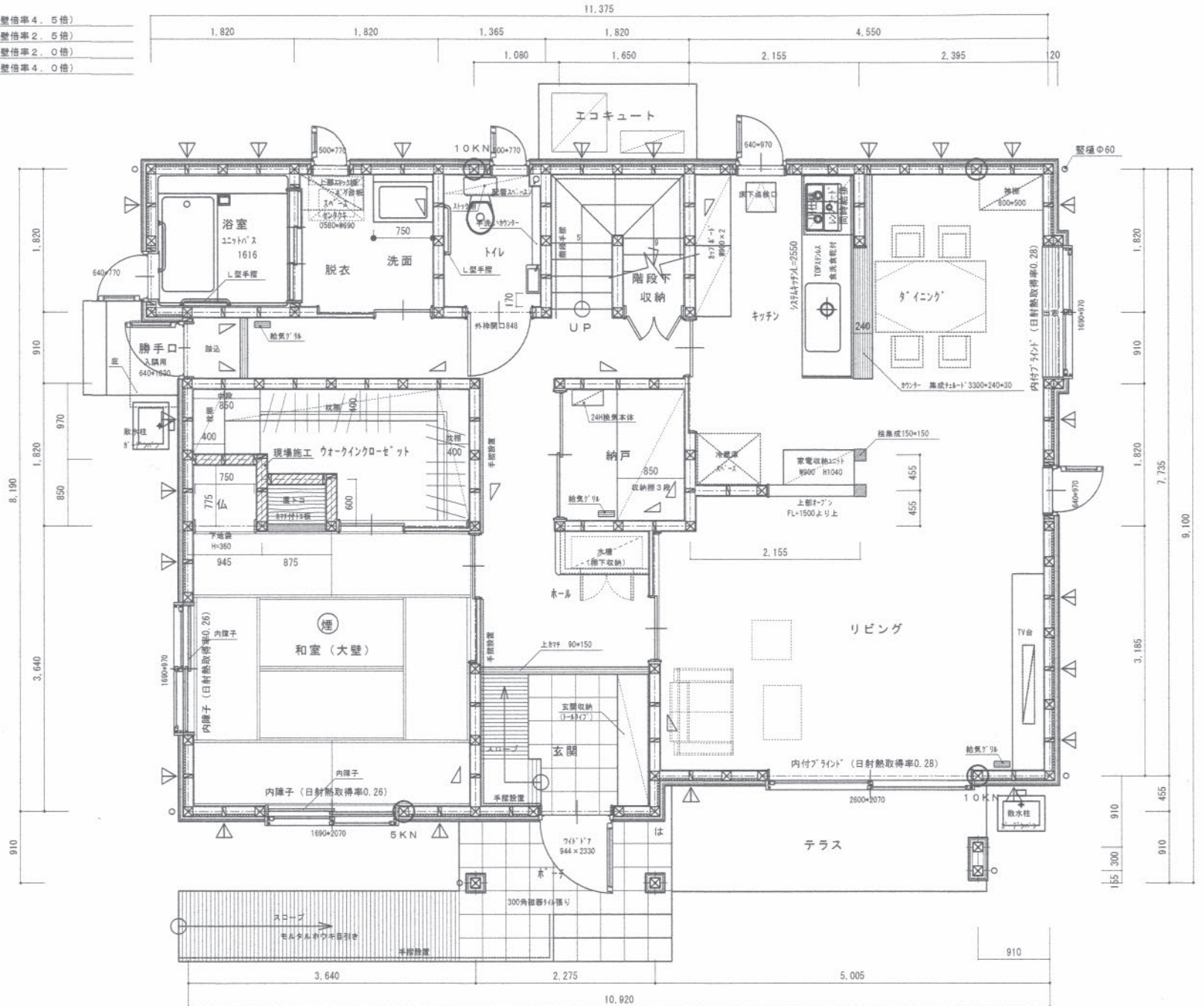
- ▲構造用合板貼り t=9.0mm 木材45\*90片方向 (壁倍率4.5倍)
- ▲構造用合板貼り t=9.0mm (壁倍率2.5倍)
- ▲防交い 木材45\*90片方向 (壁倍率2.0倍)
- ▲防交い 木材45\*90材掛 (壁倍率4.0倍)

断熱材  
 基礎断熱水\*リステレンフォームT=50mm  
 壁断熱水\*リステレンフォームT=30mm+25mm  
 天井断熱水\*リステレンフォームT=100mm+  
 ミヤカデ<sup>®</sup>6mm

凡例 (断 カナイ)  
 「ち」 (外部)、「は」 (内部) ニュービスコーナー  
 「に」、「ほ」 ニュービスコーナー (2枚使い)  
 「へ」、「と」 プレイホルダウンBH-15  
 「ち」、「り」 プレイホルダウンBH-20  
 \*特記無き柱は (ろ) の金物を使用  
 \* 防交いの取付く仕口金物は上下共用し金物を取付ける

凡例

	熱式感知器
	煙式感知器
	床下点検口
	天井点検口
	トラップ (掃除可能)
	排水樹
	換気扇 (シャッター付)
	排気口
	吸気口
	居室範囲
	手摺実装
	手摺取付下地あり
	H 手摺・窓台・腰壁高さ
	W 出入口の有効幅員
	h 出入口、床の段差
	通柱120*120







# CASBEE<sup>®</sup>-戸建(新築)

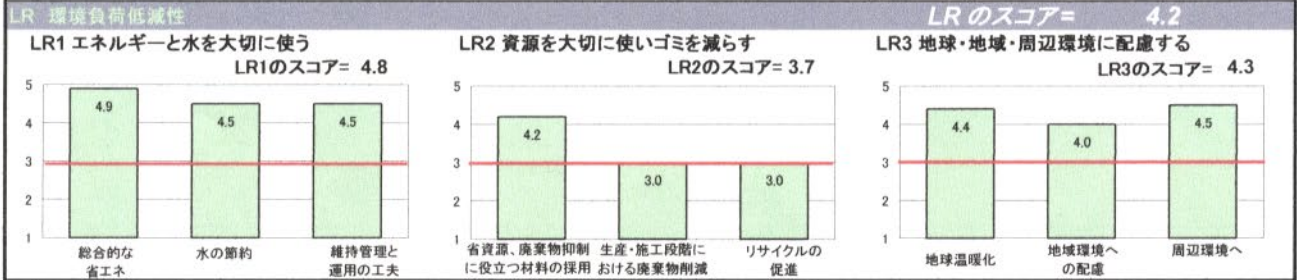
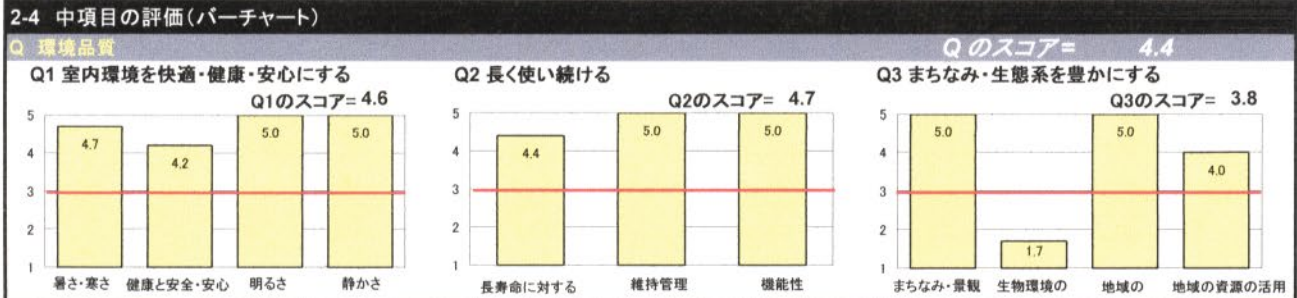
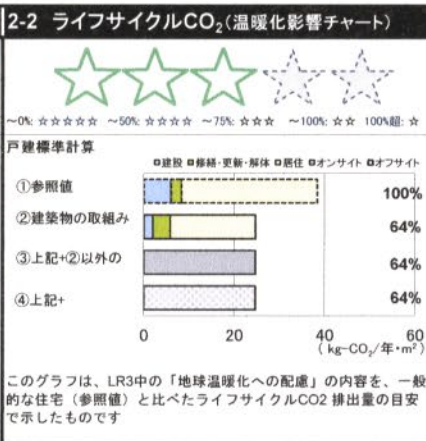
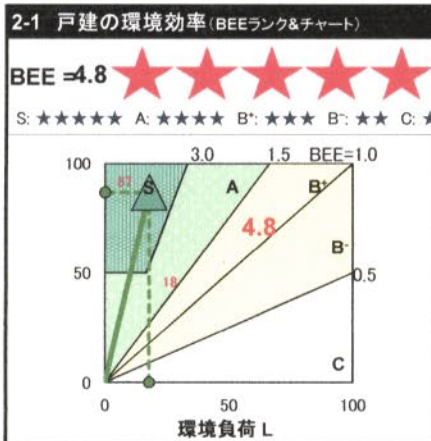
# 評価結果

■使用評価マニュアル:

CASBEE-戸建(新築) 2014年版

■使用評価ソフト: CASBEE-DH\_NC\_2014v1.0

1-1 建物概要			仕様等の確定状況			1-2 外観		
建物名称	N 邸		建物の仕様	確定		外観パース等		
竣工年月	2016年6月		持ち込み家電等	一部確定				
建設地	熊本県熊本市東区戸島6丁目250番		外構の仕様	一部確定				
用途地域	指定なし		<備考>					
省エネルギー-地域区分	6 地域							
構造・構法	木造在来工法							
階数	2		評価の実施日	2017年2月15日				
敷地面積	795 m <sup>2</sup>		作成者	稲津 孝一				
建築面積	95 m <sup>2</sup>		確認日	2017年2月16日				
延床面積	148 m <sup>2</sup>		確認者	稲津 孝一				
世帯人数	6							



### 3 設計上の配慮事項

総合	その他	
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	Q2 長く使い続ける	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする
LR1 エネルギーと水を大切に使う	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)



# BELS 評価書

申請者の連絡先

申請者の氏名又は名称

下記の建築物に関して、BELS評価業務方法書に従って評価を行った結果について証します。

なお、評価結果については、提出を受けた図書にて評価したものであり、それ以降の計画の変更や時間経過などによる変化がないことを保証するものではありません。

建築物の所在地	地域区分	6	<p>この建物の 設計一次エネルギー消費量 185MJ/(m<sup>2</sup>・年)</p> <p>59%削減</p> <p>外皮基準 適合 U<sub>A</sub>=0.46</p> <p>総合性能 U<sub>A</sub>=0.46</p> <p>454MJ/(m<sup>2</sup>・年)</p>	
名称	邸			
建築物に関する基本的事項	階数 地上2階 地下0階 構造 木造			
延べ面積	148.01 m <sup>2</sup>			
新築竣工時期(計画中の場合は予定時期)	2017/06/30			
申請対象部分に関する基本的事項	用途 住宅			
改修の竣工時期(※1)				
(※1)申請対象部分を改修する場合のみ記載されます。				
評価結果	■一次エネルギー消費量基準			
評価手法(※2)	非住宅部分	対象外		住戸部分
BEIの値(削減率)(※3)	新築(改修後等)	0.41 (59%削減)	改修前	
■位面積当たりの一次エネルギー消費量(MJ/年・m <sup>2</sup> )	設計値(その他除く)	185	設計値(その他含む)	328
	基準値(その他除く)	454	基準値(その他含む)	597
■外皮性能基準				
外皮性能	非住宅部分		住戸部分	適合 U <sub>A</sub> =0.46

(※2)平成28年基準とは、建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(平成28年経済産業省令・国土交通省令第1号)に基づく基準をいい、平成25年基準とは、改正前のエネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準(平成25年12月27日経済産業省・国土交通省告示第1号)をいいます。

(※3)削減率とは、設計一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量除く)の基準一次エネルギー消費量(その他一次エネルギー消費量除く)からの削減率をいいます。

特記事項	
■ZEB又は住宅の「ゼロエネ相当」に関する事項	ゼロエネ相当
再生可能エネルギーを除いた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率(※4)	32%削減
再生可能エネルギーを加えた設計一次エネルギー消費量の基準一次エネルギー消費量からの削減率(※4)	146%削減

(※4)一次エネルギー消費量は、「その他一次エネルギー消費量」を除きます。また、再生可能エネルギー量の対象は敷地内(オンサイト)に限定し、自家消費分に加え、売電分も対象に含まれます。

評価書交付年月日	2017年2月13日
評価書交付番号	001-62-2017-00014
評価機関名	日本ERI株式会社
評価員氏名	楠木 雄一朗



## 3. 環境効率の適合状況

## (1) 評価結果 (CASBEE 戸建-新築 (2010年版・2014年版)の場合)

環境性能	区分	提案時の数値基準	今回の申請結果	適合性の評価
すまいの環境効率 (BEEH)	BEEH ランク	S★★★★★		■ 適 □ 不適
	BEEH 値	3	4.8	
ライフサイクル CO2排出率	CO2 排出率	70 %	64 %	■ 適 □ 不適
	ランク	☆☆☆	☆☆☆	

(注)

- 「適合性の評価」欄には、どちらか該当する方に「■」をつけること。  
ただし、提案時の基準値より今回の申請結果が同等、若しくは上回る場合のみ適とする。
- CASBEE 以外のツールを適用する場合、上記の評価結果を参考に任意の様式を作成し、提出をして下さい。

## (2) 使用した環境効率の評価ツール

CASBEE評価ツール (該当するものを「■」)	<input type="checkbox"/> CASBEE - 新築 (2010年版)
	<input type="checkbox"/> CASBEE - 新築[簡易版] (2010年版)
	<input type="checkbox"/> CASBEE - 建築 (新築) (2014年版)
	<input type="checkbox"/> CASBEE 戸建-新築 (2010年版)
	<input checked="" type="checkbox"/> CASBEE 戸建 (新築) (2014年版)
	<input type="checkbox"/> CASBEE 戸建 (新築) (2016年版)
	<input type="checkbox"/> 上記以外のCASBEE ( )

(注)

- 「上記以外のCASBEE」、又は「CASBEE以外の評価ツール」を選択した場合には、別にLCCO<sub>2</sub>の計算結果を作成し提出をすること。

## (3) 環境効率の評価結果シート

(注)

- 環境効率の評価結果シートを提出すること。
- 住宅の棟ごとに作成すること。



3-2. 省エネルギー基準への適合状況(H25年省エネ基準)

省エネルギー措置の項目： 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置

該当する地域区分			【 6 地域】			
省エネルギー性能			地域区分又は基準 一次エネルギー消費 費量又は提案時の 数値基準	今回の 申請結果	適合性の 評価	
住宅以外	<input type="checkbox"/>	外皮	[MJ/ (m <sup>2</sup> ・年) ]		<input type="checkbox"/> 適	
		一次エネルギー消費 費量	[GJ/ (年) ]		<input type="checkbox"/> 不適	
住宅	<input checked="" type="checkbox"/>	外皮平均熱貫流率 (UA値)	[W/ (m <sup>2</sup> ・K) ]	<b>0.87</b>	<b>0.46</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 適
		冷房期の平均日射 熱取得率	[ηA]	<b>2.8</b>	<b>1.7</b>	
		一次エネルギー消費 費量 (太陽光含 む)	[GJ/ (年) ]	<b>88.3</b>	<b>48.5</b>	<input type="checkbox"/> 不適
	一次エネルギー消費 費量 (太陽光除 く)	[GJ/ (年) ]	<b>66.2</b>			
<input type="checkbox"/>	仕様基準 (設計・ 施工指針) 附則		別紙仕様書 参照	別紙仕様書 参照		

(注)

- には、該当する方に「■」をつけること。ただし、提案時の基準値より今回の申請結果が同等、若しくは上回る場合のみ「適」とする。
- エネルギーの使用の合理化等に関する法律第75条の規定による届出書（以下、単に「届出書」という。）を所管行政庁に提出している場合、又は都市の低炭素化の促進に関する法律第53条及び第55条により計画の認定を取得している場合、又は住宅の品質確保の促進等に関する法律第6条に規定する設計住宅性能評価書を取得している場合にあっては、その写しを添付すること。この場合、上記項目の記載は不要。（ただし、設計住宅性能評価書によるものは建設住宅性能評価書を取得すること。）
- 原則として、建築物の棟ごとに作成するものとするが、届出書を複数棟で提出する場合等にあつては、複数棟で作成することも可とする。
- 住宅の場合で仕様基準を適用する場合には、該当項目にその旨を記載し、仕様が分かる資料を提出すること。

## 評価結果(詳細)

## ■設備毎の単位面積当たりの一次エネルギー消費量について (MJ/年・㎡)

非住宅部分 (※5)	設備項目	空気調和設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						
住戸部分	設備項目	冷房設備	暖房設備	換気設備	照明設備	給湯設備	太陽光発電等 による削減量
	設計値	33.09	73.70	18.17	55.04	123.41	119.34
	基準値	34.28	124.51	36.91	87.59	169.52	
共同住宅等の 共用部分(※6)	設備項目	空気調和設備	機械換気設備	照明設備	給湯設備	昇降機	エネルギー利用 効率化設備
	設計値						
	基準値						

(※5) 非住宅の評価手法がモデル建物法の場合は、「設計値」にBEI値が表示されます。また、「設備項目」に「エネルギー利用効率化設備」とあるのは「太陽光発電設備」となります

(※6) 共同住宅等の共用部分及び非住宅部分の評価手法が通常の計算法の場合、共同住宅の共用部分は、非住宅部分に含まれます。

**参考情報** (申請者からの情報提供に基づいて記載した事項であり、評価に基づくものではありません。)



## 「ゼロエネ相当」計算書

(H25基準/コージェネレーションシステムを導入しない場合)

### 1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果

(1)建築物の名称	18			
(2)住宅の一次エネルギー消費量(1戸当り)	基準一次エネルギー消費量		設計一次エネルギー消費量	
暖房設備一次エネルギー消費量	18428	MJ/(戸・年)	10908	MJ/(戸・年)
冷房設備一次エネルギー消費量	5074	MJ/(戸・年)	4897	MJ/(戸・年)
換気設備一次エネルギー消費量	5463	MJ/(戸・年)	2689	MJ/(戸・年)
給湯設備一次エネルギー消費量	25091	MJ/(戸・年)	18266	MJ/(戸・年)
照明設備一次エネルギー消費量	12964	MJ/(戸・年)	8147	MJ/(戸・年)
合計	67020	MJ/(戸・年)	44907	MJ/(戸・年)
一次エネルギー消費量(再生可能エネルギー除く)	67.1	GJ/(戸・年)	45.0	GJ/(戸・年)
一次エネルギー消費量(再生可能エネルギー含む)			27.3	GJ/(戸・年)
(3)太陽光発電等による発電量 評価量			17663	MJ/(戸・年)
			総発電量	75823 MJ/(戸・年)
(4)BEI			0.41	☆☆☆☆☆

### 2. エネルギー削減量、エネルギー削減率の計算結果(ゼロ・エネルギーの評価)

一次エネルギー評価結果 消費量等の	太陽光発電を除く評価結果	再生可能エネを除いた設計一次エネルギー消費量	45.0	GJ/(戸・年)	
		エネルギー消費削減量	22.1	GJ/(戸・年)	
		エネルギー削減率(R <sub>0</sub> )	32	%	
	全体としての評価結果	再生可能エネを加えた設計一次エネルギー消費量	-30.9	GJ/(戸・年)	
		エネルギー消費削減量	98.0	GJ/(戸・年)	
		エネルギー削減率(R)	146	%	

「ゼロエネ相当」

適合

注1)「1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果」には、別途「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム(国立研究開発法人建築研究所ホームページで公開)」にて計算した結果を転記してください。

注2)グレー及びピンクの欄は自動で計算されますので、入力は不要です。

交付申請 提出書類チェックシート

グループ名

くまもとの家

(株)史幸工務店

N様 邸

提出書類	様式、縮尺	チェック	メモ
A 着工予定日・完了予定日 記入表	任意様式		
B 提出物チェックシート			
1 (原本) 建築士による建築物の環境効率の評価結果書 建築士による省エネルギー基準への適合確認書 建築士による省エネルギー基準への適合確認書	別添2 別添3 別添4-1		
2 建築士による建築物の環境効率の評価結果書	別添2 3.		
3 CASBEEシート (環境効率の評価結果シートのみ)	同左		
4 省エネルギー基準への適合状況	別添3 3-2		
5 先導的な提案内容への適合状況	別添4-1		
6 外皮計算書	任意書式		
7 一次エネルギー計算書(省エネ基準)太陽光有り[太陽光がある場合のみ]	同左		
8 一次エネルギー計算書(省エネ基準)太陽光無し	同左		
9 BELS認定書	同左		
10 一次エネルギー 確認シート	任意書式		
11 案内図:計画建物を明示	1/2000程度		
12 配置図:縮尺、方位、敷地の境界及び道路の位置を明示	1/100程度		
13 仕様書:物件名等、提案項目を明示			
14 平面図:縮尺、方位、寸法、室名、提案項目を明示 (真北から何度か示す方位・日射遮蔽物・サッシ・玄関ドア) (雨水タンク又は高効率給湯器貯湯槽)	1/50程度		
15 立面図:縮尺、寸法 4面以上、提案項目を明示 (日射遮蔽物・太陽光発電パネル)	1/100程度		
16 矩計図:縮尺、寸法、提案項目を明示 (断熱材)	1/20程度		
17 提案項目に対する設備図、計画図 12~16 で 兼用可能 :設備位置図、換気設備、照明設備、太陽光発電、床暖房範囲図等	1/100程度		
その他(提案内容、性能値が確認できる資料・カタログ等の写し)			
20 長期優良住宅適合証 又は 長期優良住宅認定書 ※長期優良住宅が取得できない場合は、設計性能評価書	同左		
21 断熱材 外皮計算に必要な性能がわかる資料	任意書式		
22 サッシ 外皮計算に必要な性能がわかる資料	任意書式		
23 玄関 外皮計算に必要な性能がわかる資料	任意書式		
24 日射遮蔽材 日射性能がわかる資料	任意書式		
25 庇の日射計算資料 又は 図面に計算を記載 庇を日射取得率0.3以下の計算に含まれる場合	任意書式		
26			
27			
事業費の積算内訳が記載されている請負契約書等 補助対象工事項目、金額を明記して下さい			
30 請負契約書	任意書式		
31 見積書	任意書式		
32 かかり増し費用内訳書	任意書式		
33 参考様式(補助対象事業費確認書)掛まし費用	任意書式		
34 BELS申請委託契約書	任意書式		
35 参考様式(補助対象事業費確認書)BELS	参考様式		



住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量（冷房期・暖房期）計算書  
（木造戸建て住宅）

## 1) 基本情報の入力

住宅の名称	N様 邸新築工事		
住宅の所在地	熊本県熊本市	(地域区分)	6 (IVb)
住宅の規模	地上	2 階	、地下 0 階

## 2) 計算結果

外皮平均熱貫流率	0.46 W/(m <sup>2</sup> K)	単位温度差あたりの外皮熱損失量(q)	180.6 W/K
冷房期の外皮平均日射熱取得率	1.7	単位日射強度あたりの冷房期の日射熱取得量(m <sub>C</sub> )	6.56
外皮等面積の合計	398.22 m <sup>2</sup>	単位日射強度あたりの暖房期の日射熱取得量(m <sub>H</sub> )	6.47

## 3) 省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

	計算結果	基準値	判定		
外皮平均熱貫流率 [W/(m <sup>2</sup> K)]	0.46 W/(m <sup>2</sup> K)	0.87 W/(m <sup>2</sup> K)	適合	<input checked="" type="radio"/>	等級4
冷房期の外皮平均日射熱取得率	1.7	2.8	適合	<input type="radio"/>	等級3
				<input type="radio"/>	等級2

注1: 本計算シートに入力している面積は、別途平面図や立面図等で計算過程を明示しています。

注2: 本計算シートに入力している部位の熱貫流率は、別途計算書等を添付しています。

注3: 本計算シートの計算方法は、(独)建築研究所が示す外皮性能の計算方法を遵守しています。

注4: 内訳計算シートAは、住宅の外壁の面する方位別のシートに入力してください。

注5: 各シートの **黄色** 部分に入力するか、あるいはドロップボックスから選択してください。

注6: 各シートに入力する寸法は、メートル単位で入力して下さい。

注7: 本計算シートでは計算式の誤削除を防止するため、シートを保護していますがパスワードの設定はしていません。

よって各社の仕様に応じ内容を修正することは制限ませんが、計算過程を追えるよう修正することをお願いします。

※1 窓の付属部材に応じた日射熱取得係数を使う場合は、付属部材に応じた値を直接入力して下さい。